

赤穂発電所における鉄分を含む排水の海域への流出

2022年7月26日

関西電力株式会社

本日8時頃、赤穂発電所（1、2号機定格出力：各60万kW）において、沈砂池^{※1}から鉄分を含む空気予熱器洗浄排水^{※2}が海域へ流出していることを確認しました。本件は、協力会社から赤穂発電所周辺海域の濁りについて本日連絡があり、当社社員が確認したものです。

7月25日、赤穂発電所1号機は空気予熱器の洗浄作業を実施していました。空気予熱器洗浄に伴う排水が、排水処理装置^{※3}に送水する配管に発生した亀裂から漏れ、側溝を経由して沈砂池に流入しました。沈砂池から海域へ放水するゲート弁を閉める操作を実施済みでしたが、障害物等によるゲート弁の隙間から当該排水が海域へ流出したものと想定しています。

現在、沈砂池の濁水をバキューム車にて回収するとともに、オイルフェンスを張ることにより拡散防止に努めています。今後、ゲート弁等の点検を実施し、原因の究明および再発防止策の検討に取り組みます。なお、本件に伴う環境への影響は調査中です。

地元の方々をはじめ、関係者の皆さまにご迷惑をおかけし、深くお詫び申し上げます。

- ※1 発電所構内の排水を回収し浮遊物や固体を沈殿により取り除くための設備。
- ※2 空気予熱器は、ボイラの熱効率を高めるために燃焼用の空気をボイラに送り込む前に加熱する設備。空気予熱器の付着物に温水を吹き付けて除去することに伴い排水が発生。
- ※3 海へ放水する前に有害物質の除去などの処理を行う装置。

<赤穂発電所の概要>

	1号機	2号機
運転開始	昭和62年9月	昭和62年12月
定格出力	60万kW	60万kW

所在地：兵庫県赤穂市加里屋字東沖手1602番地

燃料：原油および重油

以上

添付資料：赤穂発電所における鉄分を含む排水の海域への流出

赤穂発電所における鉄分を含む排水の海域への流出

